

# 会長挨拶



全国道路利用者会議会長 綿貫民輔

「低減に資する」  
部分を早期に

全国道路利用者会議第65回定時総会の開催にあたり、一言御挨拶を申し上げます。さて、東日本大震災から2年と2カ月が過ぎましたが、未だに30万人以上の方々が避難生活を強いられ、平素より当会議の諸活動に対し、積極的にご支援、ご協力をいただき誠に有難く、深く感謝申し上げます。我々は大きな犠牲の賜に、沢山の教訓を得ましたが、これらを無駄にすることなく、国民の安全と安心のために、国の責任の下

に、公共事業を促進していくことが必要です。道路利用者会議といたしましても、被災地の皆さんが、一日も早く、平穏な生活を取り戻すため、道路整備の促進を通じて、復興が加速するよう、尽力して参りたいと存じます。一方、地域住民の方々からは、「高速道路から生活道路まで、バランスのとれた道路ネットワークの形成を求める声や、既存の道路や橋、トンネル等の維持管理を充実して、安全性を確保することを求める声、「命の道」の整備を求める声があります。特に現在問題になっているのが、インフラの老朽化であります。高度成長期に整備された、高速道路やトンネル、橋などのインフラの老朽化は歴然としており、早急に着手しなければならぬ状況に

# 来賓挨拶



国土交通大臣政務官 松下新平

ご紹介をいただきます。また、この全国道路利用者会議は長い歴史を積み重ねてこられました。まさに日本を道を通じた国として、その役割を果たしていただきたいと思います。先ほどお話がありましたが、昭和24年ですから終戦後間もない厳しい困難な時代から行政、とりわけ道路行政の推進に暖かいご指導を賜っております。先人達は、この日本を立て直すために道路をしっかりと整備しようと

で、この道路が整備されたならば今度は物流など、物流の円滑化、これに力を注がれました。そして、国民生活の利便性に多大なご貢献をいただいたわけですね。もちろん戦後の我々の自信・誇りを取り戻す大きな崇高な理念の下に皆様の活動があられたことあらためまして、敬意を表する次第でございます。公共事業に対して厳しい指摘が長い間続きました。まさに冬の時代。今日お集まりの皆様も本意ではないけれども辛い思いをされたかと思えます。ようやく変化の兆しが見えてきました。昨年の第2次安倍内閣の発足、この長引くデフレの脱却をしようとする、国民の皆様の後押しによりまして、道路予算が年々削減されたのを食いとめることができた。そして15ヶ月予

あります。また、予測を超える地震、津波、雨、風、寒波などに對して、常日頃から、万全の備えをしておかねばなりません。このような緊急事態において、道路がどれほど重要な役割を果たすインフラであるかは、今更、言うまでもありません。昨年末以降、円高是止や海外経済の持ち直しもあり、我が国の景気も上昇傾向にあり、国内の空気も徐々に変化しつつあります。この好機を逃すことなく、速やかに道路整備に着手することを望んでおります。我々は、昭和24年創立以来、今日まで、その時々にあふましい国土の発展と、豊かな国民生活形成のために皆さんと共に道路整備の促進を訴え続けて参りましたが、今後とも、道路整備の促進のための活動を続けて参ります。

「命の道」づくりは、国家戦略として明確なビジョンの下に、国が計画し、予算措置を行い継続的に実施していくべきものであります。これからは、「政治」「行政」「利用者」の三者がしっかりと連携して、対処していくことが益々重要ではないかと思っております。これからも、皆さんと一致団結し、真に必要な「命の道」の整備のための予算獲得に向けて活動を展開して参りたいと思っております。

皆さんの、なお一層のご支援とご協力と、本日、出席いただきました来賓の方々のご理解を賜りますようお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。皆様には、大変お忙しい中、全国各地から多数のご出席を賜り厚く御礼申し上げます。さて、東日本大震災から、2年2カ月が経過いたしました。復旧に向けて取組が進められていく中で、被災者の生活は未だ厳しい状況にある事は、お断り申し上げます。皆様のご承知の通りであり、改めまして、お見舞いを申し上げます。皆様各位の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、被災地の一日も早い復興と、国土の発展と国民生活の安全・安心を確保するための、必要不可欠な道路の整備を強く求めたいと思っております。つまり、今回の大震災で証明された、まさに「命の道」の整備を求めていくことこそであります。長らく公共事業と言えども、何か悪者であるかのようないきなり消されてしまったが、東日本大震災と昨年末の政権交代を契機に、公共事業の本来の役割と重要性が見直されつつあります。我々は、この機会を逃すことなく、前政権の下で遅れてしまった、「命の道」の整備を今こそ進めていたいただけるよう、活動を展開してまいりたいと考えております。

本日は、ここに全国道路利用者会議第65回定時総会が盛大に開催されます。心よりお慶び申し上げます。さて、昨年12月の総選挙を経て、再び自公政権が発足したところでありますが、政権交代後には、平成24年度補正予算を、さらに、平成25年度当初予算も成立させて頂いたところであります。道路整備に対する推進体制が整ってきたところであります。我が国は、地震、津波、

# 開会挨拶



全国道路利用者会議副会長 栃木県茂木町長 古口達也

副会長の古口でございます。被災地では日々、復興に向けて取組が進められていく中で、被災者の生活は未だ厳しい状況にある事は、お断り申し上げます。皆様のご承知の通りであり、改めまして、お見舞いを申し上げます。皆様各位の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、被災地の一日も早い復興と、国土の発展と国民生活の安全・安心を確保するための、必要不可欠な道路の整備を強く求めたいと思っております。つまり、今回の大震災で証明された、まさに「命の道」の整備を求めていくことこそであります。長らく公共事業と言えども、何か悪者であるかのようないきなり消されてしまったが、東日本大震災と昨年末の政権交代を契機に、公共事業の本来の役割と重要性が見直されつつあります。我々は、この機会を逃すことなく、前政権の下で遅れてしまった、「命の道」の整備を今こそ進めていたいただけるよう、活動を展開してまいりたいと考えております。

本日は、ここに全国道路利用者会議第65回定時総会が盛大に開催されます。心よりお慶び申し上げます。さて、昨年12月の総選挙を経て、再び自公政権が発足したところでありますが、政権交代後には、平成24年度補正予算を、さらに、平成25年度当初予算も成立させて頂いたところであります。道路整備に対する推進体制が整ってきたところであります。我が国は、地震、津波、

# 来賓挨拶

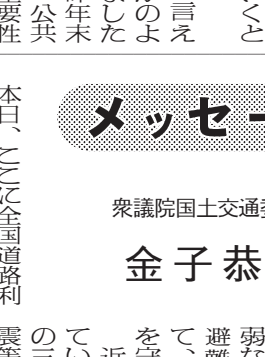


参議院国土交通委員長 石井準一

ただいまご紹介を賜りました参議院国土交通委員長石井準一でございます。さて平成25年度予算が成立をし、先に成立をしまして

た平成24年度補正予算と合わせた15ヶ月予算として、日本経済を大胆に再生させると共に東日本大震災からの復興を目的とする形での復旧を進めるための取組が本格的に進められていくことを大いに期待しているところであります。そうした取組を推進するためには、物流をはじめとする経済活動を支える社会インフラの整備、とりわけ高速道路をはじめとする道路ネットワークが構築されていることが重要であります。しかしながら現実には、地方部を中心とするミッシングリンクの解消が遅々として進んでいない。また首都圏においても、首都圏中央連絡自動車道をはじめとする首都圏3環状道路についても未開通区間が多く残されているなど、道路整備が十分に進んでいるとは言えない状況にあり、地域経済の活性化、災害時にける緊急輸送の確保、国際競争力強化の観点から一日も早い道路網の大成が求められているところであります。参議院国土交通委員長の職にある私といたしましても、景気回復への兆しが見えてきた我が国経済の回復を本格的にさせるために、パランスの取れた道路ネットワークの整備や慢性的な渋滞の解消など道路利用者の便益向上のために必要となる予算の継続的確保に向け、最大限努力していく決意であります。最後に申し上げますが、全国道路利用者会議の益々の発展とご列席の皆様方のご発展とご発展を祈念申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

# メッセージ



衆議院国土交通委員長 金子恭之

本日は、ここに全国道路利用者会議第65回定時総会が盛大に開催されます。心よりお慶び申し上げます。さて、昨年12月の総選挙を経て、再び自公政権が発足したところでありますが、政権交代後には、平成24年度補正予算を、さらに、平成25年度当初予算も成立させて頂いたところであります。道路整備に対する推進体制が整ってきたところであります。我が国は、地震、津波、

さらには火山、台風、豪雨、豪雪など様々な災害に見舞われる極めて厳しい環境にあり、老朽化対策を弱く国土において、道路は避難路、緊急輸送路として、まさに地域の皆様の命を守る道であります。近い将来発生するとされている東海・東南海・南海の三連動地震や首都直下地震等から地域住民の生命、財産を確実に守るために、生活道路から高規格幹線道路までの道路ネットワークの整備は、国土を強靱化するために強力に推進する必要があります。さらに、昨年12月に笹子トンネル天井板落下により、多くの尊い命が失われたという悲しい事故も発生しています。老朽化対策を推進するための道路法の改正案を与野党協力して衆議

# 来賓紹介

- 【友誼団体】 井上啓一(公社) 日本道路協会会長、三好武夫(一社) 日本道路建設業協会会長
  - 【国会議員・本人】 《衆議院議員》 中村裕之 《参議院議員》 吉田博美
  - 【国土交通省】 前川秀和道路局長 【高速道路株式会社等】 加藤秀生(独) 日本高速道路保有・債務返済機構総務部長、山内泰次東日本高速道路(株)取締役兼常務執行役員建設・技術本部長、野口英正中日本高速道路(株)建設事業本部事業調整担当部長、後藤洋西日本高速道路(株)用地担当部長、坂下泰幸阪神高速道路(株)常務執行役員、井口徹典本州四国連絡高速道路(株)東京事務所長
  - 【参議院議員】 井上啓一(公社) 日本道路協会会長、三好武夫(一社) 日本道路建設業協会会長
  - 【国会議員・代理】 《衆議院議員》 赤澤亮正、井上英孝、井林辰憲、門博文、金子恭之、國場幸之助、斎藤洋明、坂元大輔、桜井宏、寺島義幸、土井亨、長坂康正、西村明宏、原田憲治、前田一男、若井康彦、宮宮健嗣
  - 《参議院議員》 小泉昭男、佐藤信秋、鶴保庸介、前田武志、渡辺猛之
  - 【祝電】 《衆議院議員》 樋口尚也 《参議院議員》 佐藤信秋
- 《敬称略》